

【家庭分野の目標】

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期（11）	二学期（16）	三学期（8）
<p>【4月～5月】</p> <p>家庭科授業に関するガイダンス（0.5） 私たちの生活と家族・家庭の機能（0.5） 中学生としての自立（0.5） 家庭生活と地域との関わり（0.5） どうして衣服を着るのだろう（0.5） 私らしさとT.P.O.～着方の工夫～（0.5）</p> <p>※学習ノート、ワークシートで評価</p>	<p>【9月～11月】</p> <p>作って楽しい布作品（13） ※学習ノート、学習カード、実技（まつり縫い、ミシン縫い）</p> <p>【11月～12月】</p> <p>持続可能な衣生活を目指して（2） ※学習ノート、ワークシートで評価 第3回定期テスト（1）</p>	<p>【1月】</p> <p>どうして食事をするのだろう（1） 私たちの食生活（1） 栄養素ってなんだろう（0.5） ※小テスト、学習ノートで評価</p>
<p>【5月～6月】</p> <p>衣服計画と必要な衣服の選択（1） 衣服の手入れ（3）</p> <p>※学習ノート、ワークシート、実技（アイロンがけ）で評価</p>		<p>【1月～2月】</p> <p>中学生に必要な栄養（0.5） 食品に含まれる栄養素（1） 何をどれくらい食べればよいか（1） 第4回定期テスト（1）</p> <p>※学習ノート、ワークシートで評価</p>
<p>【6月～7月】</p> <p>ミシンの使い方（2） 生活の課題と実践（1）</p> <p>※学習ノート、生活の課題と実践についての提出物で評価</p> <p>第1回定期テスト（1）</p>		<p>【3月】</p> <p>生活の課題と実践（2） ※学習ノート、生活の課題と実践についての提出物で評価</p>

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）

	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<p><知識及び技能></p> <p>各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・学習ノート ・学習カード ・実技 ・定期テスト ・小テスト <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートやワークシート、学習カードは定期的に回収。自分の考えや意見を記入する場合は、A○、A、B○、B、Cで評価。学習内容を踏まえ答えられているもの（おおむね満足できる）がB、聞かれていることに対して学習内容を踏まえ、具体的に答えられているものがA○。 ※A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす） ・実技は、必要に応じて実技テストを行う。 まつり縫いの実技テストは5つの項目についてA,B,Cで評価します。5つの項目、それぞれの評価規準は実技テストの前に示します。 ミシンの実技テストはA,B,Cの3段階で評価します。詳しい評価規準は実技テストの前に示します。 ・小テストは五大栄養素について10問、10点満点の小テストを行う。
II	<p><思考力・判断力・表現力等></p> <p>各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・学習ノート ・学習カード ・定期テスト ・生活の課題と実践の提出物 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートやワークシート、学習カードは定期的に回収。自分の考えや意見を記入する場合は、A○、A、B○、B、Cで評価。学習内容を踏まえ答えられているもの（おおむね満足できる）がB、聞かれていることに対して学習内容を踏まえ、具体的に答えられているものがA○。 ※A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす） ・生活の課題と実践は主に衣生活や住生活、消費生活に関して自らの生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、論理的に表現するものである。自分の生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして提出物を仕上げる

			とAOの満点。 ※AOは満点、Aは満点に対して9割、BOは状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす）
III	<p><主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価</p> <p>[平常点] ・学習ノート ・生活の課題と実践の提出物 など</p>	<p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。</p> <p>[平常点] ・学習ノートの穴埋め部分は、記入できているかいないかで評価。できていれば、満点。 ・生活の課題と実践は主に衣生活や住生活、消費生活に関して自らの生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、論理的に表現するものである。自分の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとする提出物の仕上がりになっていればAOの満点。 ※AOは満点、Aは満点に対して9割、BOは状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす） ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとするかどうかをA～Cで評価する。授業観察で判定する。</p>